

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 2 月 18 日 (2016.2.18)

【公開番号】特開 2014-126572 (P2014-126572A)
 【公開日】平成 26 年 7 月 7 日 (2014.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-036
 【出願番号】特願 2012-280685 (P2012-280685)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 D

H 0 4 N 5/74 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 12 月 24 日 (2015.12.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 3】

図 3 に例示する設定画面 6 0 では、「A V ミュートタイマー」、「スリープモード」、「スリープモード時間」、「レンズカバータイマー」の設定項目が配置されている。ユーザーはリモコン 5 または操作パネル 5 1 を操作して設定項目を選択し、省電力モードの可否を設定する。

設定画面 6 0 の設定項目名「A V ミュートタイマー」は、A V ミュート動作の実行時に、A V ミュート動作が所定時間継続した後にプロジェクター 1 の電源をオフにする機能を設定することを示している。「A V ミュートタイマー」の設定値は「オン」と「オフ」である。設定値が「オン」の場合は A V ミュートを所定時間継続するとプロジェクター 1 の電源がオフにされ、かつ、A V ミュート動作が実行される際に電力制御部 1 0 2 が省電力モードに移行する。これに対し、設定値が「オフ」の場合は、A V ミュート動作を所定時間より長く継続してもプロジェクター 1 の電源がオフにされない。さらに、設定値が「オフ」の場合は、電力制御部 1 0 2 は省電力モードに移行しない。「A V ミュートタイマー」に関する所定時間は、放電管 4 5 の供給電力のレベルを省電力レベルにしても放電管 4 5 の不具合を招かない時間となっており、具体的には 3 0 分である。A V ミュート動作中に省電力モードを実行する場合、放電管 4 5 の不具合を防止するため、A V ミュート動作を 3 0 分継続したらプロジェクター 1 の電源をオフにする必要がある。このようなプロジェクター 1 の動作、すなわち 3 0 分経過したらプロジェクター 1 の電源をオフにするという動作をユーザーが選択した場合に、電力制御部 1 0 2 が省電力モードを実行可能となる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 5 7】

図 5 は、プロジェクター 1 の動作を示すフローチャートである。この図 5 は、プロジェクター 1 のカバー閉動作に係る一連の動作を示している。

この図 5 の動作は、プロジェクター 1 が通常動作状態で、投射制御部 101 がカバー検出部 31 の検出値に基づいて、レンズカバー 30 が開位置 0 にないことを検出した場合に（ステップ S 41）、開始される。この通常動作状態は、プロジェクター 1 の電源が投入された後の入力を待機する状態、及び、入力画像データ S1 に基づいて画像をスクリーン SC に表示している状態を含む。

ステップ S 41 でレンズカバー 30 が開位置 0 にないことを検出した場合、投射制御部 101 は、レンズカバータイマーの設定値が「オン」か「オフ」かを判定する（ステップ S 42）。レンズカバータイマーの設定値は、設定画面 60（図 3）に基づいて設定され、設定データ 11B に含まれている。

レンズカバー設定の設定値が「オフ」である場合、投射制御部 101 は、カバー閉動作を実行し（ステップ S 43）、その後にレンズカバー 30 が開位置 0 になるまで待機する（ステップ S 44）。そして、投射制御部 101 が、カバー検出部 31 の検出値に基づいてレンズカバー 30 が開かれたことを検出すると（ステップ S 44；Yes）、通常の投射状態に復帰し（ステップ S 45）、ステップ S 41 に戻る。